

野村金先物投信 (南アフリカランドコース) 年2回決算型

運用報告書(全体版)

第14期（決算日2016年4月25日）

作成対象期間（2015年10月27日～2016年4月25日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）	
信託期間	2009年7月31日から2019年10月25日（当初、2014年10月27日）までです。	
運用方針	主として、円建ての外国投資信託であるノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスZAR受益証券および円建ての国内籍の投資信託である野村マネーポートフォリオ マザーファンド受益証券への投資を通じて、米国の金先物価格のトレンドを概ね捉えるとともに南アフリカランドへの投資効果を追求することを目的として運用を行います。各受益証券への投資比率は、通常の状況においては、ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスZAR受益証券への投資を中心としますが、特に制限は設けず、各投資対象ファンドの収益性および流動性ならびに当ファンドの資金動向等を勘案のうえ決定することを基本とします。	
主な投資対象	野村金先物投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスZAR受益証券および野村マネーポートフォリオ マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。なお、コマーシャル・ペーパー等の短期有価証券ならびに短期金融商品等に直接投資する場合があります。
	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスZAR	米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、米国の金先物取引等を主要取引対象とします。外国為替予約取引、為替先渡取引、直物為替先渡取引等を活用します。
	野村マネーポートフォリオ マザーファンド	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	野村金先物投信（南アフリカランドコース）年2回決算型	投資信託証券への投資割合には制限を設けません。外貨建て資産への直接投資は行いません。
	野村マネーポートフォリオ マザーファンド	株式への投資は行いません。
分配方針	毎決算時に、原則として経費控除後の繰越分を含めた配当等収益と売買益等から、基準価額水準等を勘案して分配します。留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行います。	

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1



サポートダイヤル 0120-753104

〈受付時間〉営業日の午前9時～午後5時



ホームページ <http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分 配	み 金 期 騰 落 中 率				
	円	円	%	%	%	%	百万円
10期(2014年 4 月25日)	12,267	10	△5.8	0.1	—	97.7	13
11期(2014年10月27日)	12,180	10	△0.6	0.1	—	97.5	18
12期(2015年 4 月27日)	11,927	10	△2.0	0.1	—	97.4	14
13期(2015年10月26日)	10,846	10	△9.0	0.0	—	97.3	14
14期(2016年 4 月25日)	10,012	10	△7.6	0.0	—	97.1	10

* 基準価額の騰落率は分配金込み。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。
* 当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

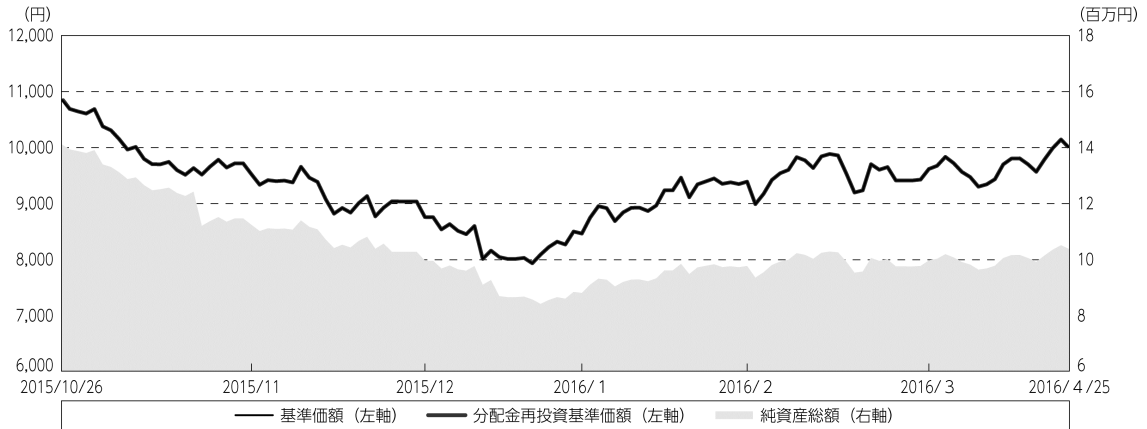
○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落 率	中 率			
(期 首)	円	%		%	%	%
2015年10月26日	10,846	—		0.0	—	97.3
10月末	10,688	△ 1.5		0.0	—	96.6
11月末	9,526	△12.2		0.1	—	97.6
12月末	8,761	△19.2		0.1	—	97.4
2016年 1 月末	8,467	△21.9		0.1	—	98.3
2 月末	9,393	△13.4		0.0	—	97.8
3 月末	9,619	△11.3		0.0	—	97.5
(期 末)						
2016年 4 月25日	10,022	△ 7.6		0.0	—	97.1

* 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比です。
* 当ファンドはマザーファンドを組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。
* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



期 首：10,846円

期 末：10,012円（既払分配金（税込み）：10円）

騰落率：△7.6%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。作成期首（2015年10月26日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なり、また、ファンドの購入価額により課税条件も異なりますので、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

○基準価額の主な変動要因

実質的に投資している金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等からのキャピタルゲイン（またはロス）（価格変動損益）

為替取引によるコスト（金利差相当分の費用）またはプレミアム（金利差相当分の収益）
円／南アフリカランドの為替変動

○投資環境

COMEX金先物（期近物）は当作成期において、上昇しました。当作成期の前半は、10月の米国の雇用統計が市場予想を上回る結果となったことや11月にイエレンFRB（米連邦準備制度理事会）議長が年内の利上げ可能性に言及したことなどから米ドル高となり、金は売られました。その後、1月から3月上旬にかけて、中国や米国など世界的に株価が下落したことなどからリスク回避姿勢が高まり、金は買われました。3月中旬に金は一時的に売られましたが、4月にも米国株式市場の下落や米ドル高などを背景に金は買われ、当作成期において金は上昇しました。当作成期首は1トロイオンスあたり1,166.60米ドルでしたが、当作成期末には1,249.00米ドルとなりました。

○当ファンドのポートフォリオ

〔野村金先物投信（南アフリカランドコース）年2回決算型〕

〔ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスZAR〕および〔野村マネーポートフォリオ マザーファンド〕受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする〔ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスZAR〕受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持しました。

〔ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスZAR〕

米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を中心に投資するとともに、金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等を利用し、金先物に対する実質的なエクスポージャー比率を、純資産総額の90%～110%程度の範囲に維持しました。

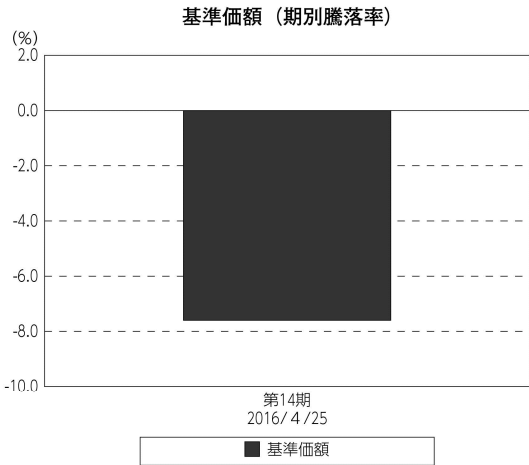
〔野村マネーポートフォリオ マザーファンド〕

残存期間の短い公社債への投資により安定した収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図りました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは、主として外国籍ファンドに投資するファンド・オブ・ファンズであり、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



(注) 基準価額の騰落率は分配金込みです。

◎分配金

収益分配金については、基準価額の水準等を勘案して決定しました。
留保益の運用については、特に制限を設けず、元本部分と同一の運用を行ないます。

○分配原資の内訳

（単位：円、1 万口当たり・税込み）

項 目	第14期
	2015年10月27日～ 2016年4月25日
当期分配金	10
（対基準価額比率）	0.100%
当期の収益	10
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	11,481

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。
(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。
(注) 投資信託の計理上、「翌期繰越分配対象額」は当該決算期末時点の基準価額を上回る場合がありますが、実際には基準価額を超える額の分配金をお支払いすることはありません。

◎今後の運用方針

〔野村金先物投信（南アフリカランドコース）年2回決算型〕

〔ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスZAR〕および〔野村マネーポートフォリオ マザーファンド〕受益証券を主要投資対象とし、投資の中心とする〔ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスZAR〕受益証券への投資比率を概ね90%以上に維持します。

〔ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスZAR〕

米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を中心に投資するとともに、金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等を利用し、金先物に対する実質的なエクスポージャー比率を、原則として純資産総額の90%～110%の範囲に保つことを目指します。

〔野村マネーポートフォリオ マザーファンド〕

残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券への投資を行ない、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願いいたします。

※店頭デリバティブ取引に関する国際的な規制強化の動きについて

店頭デリバティブ取引に関して、将来、国際的に規制の強化等が予定されています。ファンドが投資対象とする外国投資信託が原則として活用する店頭デリバティブ取引（オプション、NDFおよびNDO等を含みます。）が当該規制強化等の対象取引となり、かつ、当該取引を行なうための担保として現金等を提供する必要がある場合、当該現金等を資産の一部として追加的に保有することとなります。その場合、ファンドの実質的な主要投資対象の組入比率が下がり、高位に組入れた場合に期待される投資効果が得られないことが想定されます。また、その結果として、実質的な主要投資対象を高位に組入れた場合と比べてファンドのパフォーマンスが悪化する場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2015年10月27日～2016年 4 月25日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 60	% 0.634	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(23)	(0.242)	ファンドの運用とそれに伴う調査、受託会社への指図、法定書面等の作成、基準価額の算出等
(販 売 会 社)	(35)	(0.376)	購入後の情報提供、運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理および事務手続き等
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	ファンドの財産の保管・管理、委託会社からの指図の実行等
(b) そ の 他 費 用	0	0.001	(b)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.001)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
合 計	60	0.635	
期中の平均基準価額は、9,409円です。			

* 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

* 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

* その他費用は、このファンドが組み入れているマザーファンドが支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

* 各項目の費用は、このファンドが組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）が支払った費用を含みません。

* 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2015年10月27日～2016年 4 月25日)

投資信託証券

銘 柄		買 付		売 付	
		口 数	金 額	口 数	金 額
国 内	ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・フューチャー・ファンドークラスZAR	191	千円 926	586	千円 2,832

* 金額は受け渡し代金。

* 金額の単位未満は切り捨て。

○利害関係人との取引状況等

(2015年10月27日～2016年 4月25日)

利害関係人との取引状況

<野村金先物投信（南アフリカランドコース）年2回決算型>
該当事項はございません。

<野村マネーポートフォリオ マザーファンド>

区 分	買付額等 A			売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	
		うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$			$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 25	百万円 5	% 20.0	百万円 —	百万円 —	% —

平均保有割合 0.0%

※平均保有割合とは、マザーファンドの残存口数の合計に対する当該子ファンドのマザーファンド所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2016年 4月25日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末		
	口 数	口 数	評 価 額	比 率
ノムラ・コモディティ・トラストーゴールド・ フューチャー・ファンドークラスZAR	口 2,320	口 1,925	千円 10,081	% 97.1
合 計	2,320	1,925	10,081	97.1

*比率は、純資産総額に対する投資信託受益証券評価額の比率。
*評価額の単位未満は切り捨て。

親投資信託残高

銘 柄	期首(前期末)	当 期 末
	口 数	口 数 評 価 額
野村マネーポートフォリオ マザーファンド	千口 9	千口 9 千円 10

*口数・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2016年 4月25日現在)

項 目	当 期 末
	評 価 額 比 率
投資信託受益証券	千円 % 10,081 96.4
野村マネーポートフォリオ マザーファンド	10 0.1
コール・ローン等、その他	368 3.5
投資信託財産総額	10,459 100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2016年4月25日現在）

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	10,459,498
コール・ローン等	368,242
投資信託受益証券(評価額)	10,081,225
野村マネーポートフォリオ マザーファンド(評価額)	10,031
(B) 負債	76,212
未払収益分配金	10,371
未払信託報酬	65,711
その他未払費用	130
(C) 純資産総額(A－B)	10,383,286
元本	10,371,020
次期繰越損益金	12,266
(D) 受益権総口数	10,371,020口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,012円

(注) 期首元本額は13,025,644円、期中追加設定元本額は210,948円、期中一部解約元本額は2,865,572円、1口当たり純資産額は1.0012円です。

○損益の状況（2015年10月27日～2016年4月25日）

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	456,270
受取配当金	456,241
受取利息	30
支払利息	△ 1
(B) 有価証券売買損益	△1,220,681
売買益	478,191
売買損	△1,698,872
(C) 信託報酬等	△ 65,841
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△ 830,252
(E) 前期繰越損益金	△3,072,692
(F) 追加信託差損益金	3,925,581
(配当等相当額)	(9,378,104)
(売買損益相当額)	(△5,452,523)
(G) 計(D＋E＋F)	22,637
(H) 収益分配金	△ 10,371
次期繰越損益金(G＋H)	12,266
追加信託差損益金	3,925,581
(配当等相当額)	(9,378,104)
(売買損益相当額)	(△5,452,523)
分配準備積立金	2,528,983
繰越損益金	△6,442,298

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

* 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程（2015年10月27日～2016年4月25日）は以下の通りです。

項 目	当 期
	2015年10月27日～ 2016年4月25日
a. 配当等収益(経費控除後)	390,437円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	9,378,104円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	2,148,917円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	11,917,458円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	11,491円
g. 分配金	10,371円
h. 分配金(1万口当たり)	10円

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	10円
-----------------	-----

- ※分配落ち後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合
分配金は全額普通分配金となります。
- ※分配前の基準価額が個別元本を上回り、分配後の基準価額が個別元本を下回る場合
分配金は個別元本を上回る部分が普通分配金、下回る部分が元本払戻金（特別分配金）となります。
- ※分配前の基準価額が個別元本と同額または下回る場合
分配金は全額元本払戻金（特別分配金）となります。

○お知らせ

該当事項はございません。

○（参考情報）親投資信託の組入資産の明細

(2016年4月25日現在)

<野村マネーポートフォリオ マザーファンド>

下記は、野村マネーポートフォリオ マザーファンド全体（137,326千口）の内容です。

国内公社債

(A) 国内（邦貨建）公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
地方債証券	25,000	25,110	18.2	—	—	—	18.2
	(25,000)	(25,110)	(18.2)	(—)	(—)	(—)	(18.2)
特殊債券 (除く金融債)	20,000	20,069	14.5	—	—	—	14.5
	(20,000)	(20,069)	(14.5)	(—)	(—)	(—)	(14.5)
合 計	45,000	45,179	32.7	—	—	—	32.7
	(45,000)	(45,179)	(32.7)	(—)	(—)	(—)	(32.7)

*（ ）内は非上場債で内書きです。
*組入比率は、このファンドが組み入れているマザーファンドの純資産総額に対する評価額の割合。
*金額の単位未満は切り捨て。
*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。
*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B) 国内（邦貨建）公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
地方債証券	%	千円	千円	
大阪府 公募（5年）第73回	0.51	10,000	10,004	2016/5/30
兵庫県 公募平成18年度第7回	2.1	10,000	10,051	2016/7/27
共同発行市場地方債 公募第45回	1.7	5,000	5,054	2016/12/22
小 計		25,000	25,110	
特殊債券(除く金融債)				
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第12回	2.0	10,000	10,019	2016/5/31
日本高速道路保有・債務返済機構債券 政府保証債第16回	2.0	10,000	10,050	2016/7/28
小 計		20,000	20,069	
合 計		45,000	45,179	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

ノムラ・コモディティ・トラスト・ゴールド・フューチャー・ファンドー
(クラスAUD、クラスBRL、クラスZAR)

2015年8月31日決算
(計算期間：2014年9月1日～2015年8月31日)

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

形 態	ケイマン諸島籍円建て外国投資信託
運 用 方 針	米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券を主要投資対象とし、米国の金先物取引等を主要取引対象とし、米国の金先物価格のトレンドを概ね捉えるとともに各クラスで定められた通貨への投資効果を追求することを目的として運用を行います。
投 資 対 象	米ドル建ての短期公社債等の短期有価証券 金を対象とした米国の先物取引等のデリバティブ取引等
受 託 会 社	グローバル・ファンズ・トラスト・カンパニー
投 資 顧 問 会 社	インベステック・アセット・マネジメント・リミテッド
共同投資顧問会社	野村アセットマネジメント株式会社
管理事務代行会社 保 管 銀 行	ノムラ・バンク(ルクセンブルグ)エス・エー

*作成時点において、入手可能な直前計算期間の年次報告書をもとに作成いたしております。

運用計算書
2015年8月31日に終了する計測期間
(米ドル)

収益	
雑収益	29
収益合計	29
費用	
投資顧問および共同投資顧問報酬	75,059
事務管理代行報酬	35,735
保管費用	7,413
当座借越利息	314
取引銀行報酬	1,687
受託報酬	10,724
法務報酬	2,625
立替費用	7,144
専門家報酬	14,170
雑費用	120
費用合計	154,991
純投資損益	(154,962)
投資有価証券売買に係る損益	6,043
先物取引契約に係る損益	(6,908,563)
外国通貨および外国為替先渡し契約に係る損益	(10,027,004)
当期実現純損益	(16,929,524)
投資有価証券評価差損益	(428)
先物取引契約に係る評価差損益	1,083,568
外国為替先渡し契約に係る評価差損益	(1,122,681)
当期評価差損益	(39,541)
運用の結果による純資産の増減額	(17,124,027)

組入資産明細
2015年8月31日現在
(米ドル)

通貨	額面*	銘柄	評価額	投資比率(%)
アメリカ				
短期国庫債券				
USD	4,000,000	US TREAS BILL 0% 29/10/15	3,999,966	19.42
USD	4,000,000	US TREAS BILL 0% 12/11/15	3,999,789	19.43
USD	3,000,000	US TREAS BILL 0% 22/10/15	2,999,977	14.57
USD	2,000,000	US TREAS BILL 0% 17/09/15	1,999,983	9.71
USD	2,000,000	US TREAS BILL 0% 15/10/15	1,999,960	9.71
USD	1,500,000	US TREAS BILL 0% 08/10/15	1,499,991	7.29
USD	1,000,000	US TREAS BILL 0% 03/09/15	999,996	4.86
USD	1,000,000	US TREAS BILL 0% 10/09/15	999,993	4.86
			18,499,655	89.85
		アメリカ計	18,499,655	89.85
投資有価証券合計			18,499,655	89.85

* 額面は発行通貨建て表示

外国為替先渡し契約

2015年8月31日現在

通貨 (買い)		通貨 (売り)		満期	未実現損益 (米ドル)
AUD	5,742,110	USD	4,085,167	September 25, 2015	22,485
BRL	830,117	USD	226,258	October 02, 2015	4,633
BRL	4,681,479	USD	1,300,000	October 02, 2015	2,123
ZAR	979,470	USD	74,031	September 25, 2015	143
BRL	33,362	USD	9,206	October 02, 2015	73
AUD	14,097	USD	10,031	September 11, 2015	61
BRL	3,089	USD	852	October 02, 2015	7
AUD	1,194	USD	850	September 11, 2015	5
BRL	3,040	USD	842	October 02, 2015	3
AUD	2,331	USD	1,671	September 11, 2015	(2)
ZAR	10,877	USD	835	September 11, 2015	(9)
BRL	2,843	USD	811	September 02, 2015	(13)
BRL	2,900	USD	832	September 02, 2015	(17)
BRL	5,687	USD	1,623	September 02, 2015	(25)
BRL	11,371	USD	3,223	September 02, 2015	(27)
BRL	5,656	USD	1,618	September 02, 2015	(29)
BRL	2,818	USD	831	September 02, 2015	(40)
BRL	2,837	USD	837	September 02, 2015	(40)
BRL	2,801	USD	828	September 02, 2015	(41)
BRL	8,505	USD	2,437	September 02, 2015	(47)
BRL	31,249	USD	8,834	September 02, 2015	(52)
BRL	2,817	USD	850	September 02, 2015	(58)
BRL	25,937	USD	7,287	October 02, 2015	(73)
BRL	16,918	USD	4,829	September 02, 2015	(75)
ZAR	51,812	USD	4,026	September 11, 2015	(94)
BRL	8,272	USD	2,426	September 02, 2015	(101)
BRL	37,430	USD	10,516	October 02, 2015	(106)
AUD	121,336	USD	86,989	September 11, 2015	(127)
BRL	11,051	USD	3,261	September 02, 2015	(155)
BRL	11,052	USD	3,269	September 02, 2015	(163)
BRL	11,052	USD	3,269	September 02, 2015	(163)
AUD	10,955	USD	8,040	September 11, 2015	(198)
AUD	18,845	USD	13,732	September 04, 2015	(236)
BRL	22,065	USD	6,465	September 02, 2015	(265)
BRL	30,381	USD	8,910	September 02, 2015	(372)
AUD	34,299	USD	24,993	September 04, 2015	(430)

通貨 (買い)		通貨 (売り)		満期	未実現損益 (米ドル)
BRL	20,916	USD	6,446	September 02, 2015	(568)
BRL	23,565	USD	7,271	September 02, 2015	(649)
BRL	36,725	USD	11,332	September 02, 2015	(1,012)
ZAR	865,445	USD	67,129	September 11, 2015	(1,429)
ZAR	988,947	USD	76,437	September 18, 2015	(1,453)
ZAR	992,685	USD	77,477	September 04, 2015	(2,026)
BRL	4,287,950	USD	1,200,000	October 02, 2015	(7,334)
BRL	3,549,248	USD	1,000,000	October 02, 2015	(12,800)
BRL	1,007,137	USD	298,904	September 02, 2015	(15,864)
BRL	3,885,218	USD	1,100,000	October 02, 2015	(19,352)
AUD	5,860,474	USD	4,263,201	September 11, 2015	(67,821)
BRL	4,658,477	USD	1,400,000	September 02, 2015	(90,810)
BRL	3,911,804	USD	1,200,000	September 02, 2015	(100,651)
BRL	3,881,325	USD	1,200,000	September 02, 2015	(109,217)
BRL	3,877,545	USD	1,200,000	September 02, 2015	(110,279)
AUD	5,775,394	USD	4,245,954	September 18, 2015	(112,993)
AUD	5,874,097	USD	4,320,046	September 04, 2015	(113,376)
USD	1,100,000	BRL	3,845,538	September 02, 2015	19,273
USD	1,000,000	BRL	3,513,000	September 02, 2015	12,728
USD	1,200,000	BRL	4,244,450	September 02, 2015	7,166
USD	137,414	AUD	188,891	September 04, 2015	2,142
USD	65,071	AUD	88,664	September 11, 2015	1,599
USD	40,982	BRL	144,005	September 02, 2015	512
USD	41,274	BRL	145,113	September 02, 2015	492
USD	20,126	AUD	27,449	September 11, 2015	476
USD	20,109	BRL	70,087	September 02, 2015	412
USD	12,242	AUD	16,778	September 18, 2015	235
USD	32,160	BRL	113,748	September 02, 2015	194
USD	11,034	BRL	38,795	September 02, 2015	132
USD	2,448	BRL	8,380	September 02, 2015	94
USD	4,844	AUD	6,659	September 04, 2015	76
USD	2,415	AUD	3,294	September 11, 2015	57
USD	1,622	AUD	2,205	September 04, 2015	43
USD	6,744	AUD	9,379	September 18, 2015	32
USD	825	BRL	2,861	September 02, 2015	21
USD	2,428	BRL	8,569	September 02, 2015	21
USD	1,639	BRL	5,765	September 02, 2015	20
USD	820	AUD	1,123	September 18, 2015	16

通貨 (買い)		通貨 (売り)		満期	未実現損益 (米ドル)
USD	831	BRL	2,905	September 02, 2015	15
USD	802	BRL	2,807	September 02, 2015	14
USD	1,616	BRL	5,721	September 02, 2015	9
USD	895	AUD	1,245	September 18, 2015	4
USD	828	BRL	2,993	October 02, 2015	(4)
USD	841	BRL	3,060	October 02, 2015	(10)
USD	7,458	BRL	26,914	October 02, 2015	(27)
USD	124,727	AUD	175,399	September 11, 2015	(836)
USD	127,196	BRL	462,851	October 02, 2015	(1,542)
USD	1,300,000	BRL	4,634,263	September 02, 2015	(2,385)
USD	226,258	BRL	821,770	September 02, 2015	(4,687)
					(704,767)

先物取引契約

2015年8月31日現在

通貨	契約数	銘柄	満期	市場価格(米ドル)	未実現損益(米ドル)
買建					
USD	186	FUT GOLD 100 OZ	December 2015	20,880,360	507,287
				20,880,360	507,287
					507,287

野村マネーポートフォリオ マザーファンド

運用報告書

第7期（決算日2015年7月13日）

作成対象期間（2014年7月12日～2015年7月13日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。
当作成対象期間の運用状況等についてご報告申し上げます。
今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

●当ファンドの仕組みは次の通りです。

運用方針	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とし、安定した収益と流動性の確保を図ることを目的として運用を行います。
主な投資対象	本邦通貨表示の短期有価証券を主要投資対象とします。
主な投資制限	株式への投資は行いません。 外貨建て資産への投資は行いません。

野村アセットマネジメント

東京都中央区日本橋1-12-1

<http://www.nomura-am.co.jp/>

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落 中 率			
3 期(2011年 7 月11日)	円	%	%	%	百万円
	10, 030	0. 1	99. 0	—	1, 050
4 期(2012年 7 月11日)	10, 041	0. 1	103. 3	—	571
5 期(2013年 7 月11日)	10, 051	0. 1	99. 5	—	391
6 期(2014年 7 月11日)	10, 059	0. 1	68. 6	—	207
7 期(2015年 7 月13日)	10, 066	0. 1	66. 7	—	135

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

* 当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

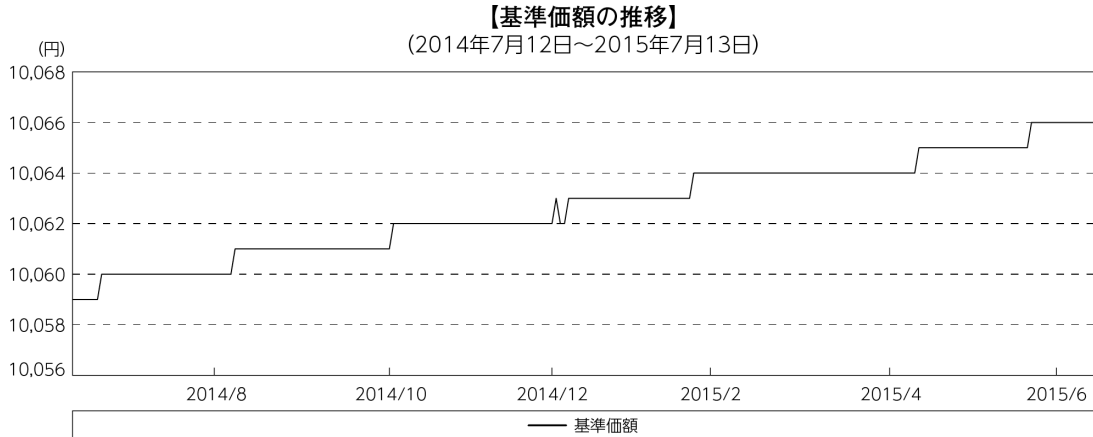
年 月 日	基 準	価 額	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
		騰 落 率			
(期 首)	円	%	%	%	%
2014年 7 月11日	10, 059	—	68. 6	—	—
7 月末	10, 060	0. 0	66. 8	—	—
8 月末	10, 060	0. 0	92. 1	—	—
9 月末	10, 061	0. 0	67. 2	—	—
10 月末	10, 061	0. 0	60. 8	—	—
11 月末	10, 062	0. 0	68. 0	—	—
12 月末	10, 062	0. 0	57. 3	—	—
2015年 1 月末	10, 063	0. 0	109. 7	—	—
2 月末	10, 064	0. 0	69. 2	—	—
3 月末	10, 064	0. 0	63. 5	—	—
4 月末	10, 064	0. 0	62. 3	—	—
5 月末	10, 065	0. 1	70. 3	—	—
6 月末	10, 066	0. 1	58. 5	—	—
(期 末)					
2015年 7 月13日	10, 066	0. 1	66. 7	—	—

* 騰落率は期首比です。

* 債券先物比率は買い建て比率－売り建て比率。

◎運用経過

○期中の基準価額等の推移



○基準価額の主な変動要因

投資している短期有価証券等からのインカムゲイン（利息収入）。

* 基準価額は0.07%の上昇

基準価額は、期首10,059円から期末は10,066円となりました。

○投資環境

国内経済は、期を通じて企業収益の拡大に伴い緩やかに改善した設備投資などが下支えとなる一方、個人消費は消費税増税による反動減の影響が長引きましたが、賃金の緩やかな上昇などに伴い個人消費に下げ止まりの動きがみられたことで、期末にかけて内需は緩やかに改善しました。その間、米国を中心とした先進国経済の回復に伴い輸出に持ち直しの動きがみられました。

このような中、日本銀行は、前年比2%の物価上昇を目指す「量的・質的金融緩和」を継続し、2014年10月の金融政策決定会合では、資産買入れ額の拡大および長期国債買入れの平均残存年限の長期化を図るなど金融緩和を強化しました。

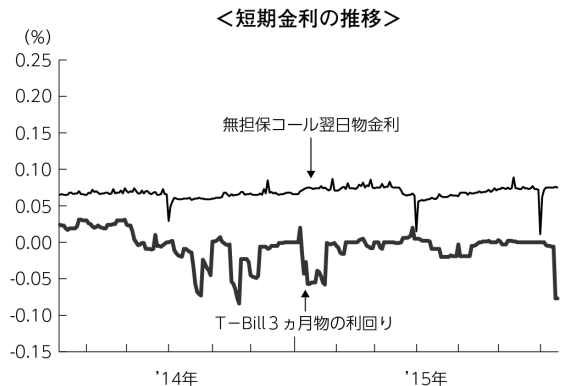
・無担保コール翌日物金利の推移

期を通じて概ね0.06%台から0.07%台で推移しました。

・T-Bill（国庫短期証券）3ヵ月物の利回りの推移

期首から2014年8月まで、需給の変化を受けて概ね0.02%台から0.03%台の範囲で推移しました。

2014年9月以降、国内投資家の恒常的な国債需要に加え、日本銀行による買入や海外からの資金流入などによる需給ひっ迫から、利回りは概ねマイナス圏で推移し、期末にかけてマイナス幅は拡大しました。



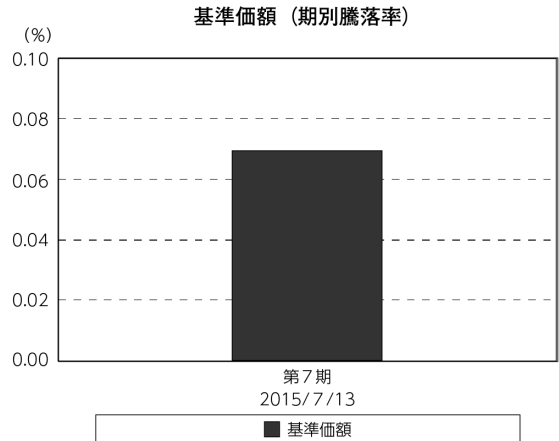
○当ファンドのポートフォリオ

- (1) 残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図るという方針のもと、運用してまいりました。
- (2) 今期の運用につきましては、残存期間の短い高格付けの公社債等によってポートフォリオを構築し、流動性に関しては、債券現先取引やコール・ローンなどにより運用してまいりました。

○当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドでは、値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

グラフは、期中の当ファンドの期別基準価額騰落率です。



◎今後の運用方針

今後も、残高動向に応じて残存期間の短い公社債やコマーシャル・ペーパー等の短期有価証券の投資により利息等収益の確保を図り、あわせて債券現先取引やコール・ローンなどで運用を行なうことで流動性の確保を図る運用を行なう方針です。

今後とも引き続きご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2014年 7 月12日～2015年 7 月13日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2014年 7 月12日～2015年 7 月13日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国 内		千円	千円
	国債証券	4,650,077	4,340,086 (400,000)
	特殊債券	241,079	40,150 (162,000)
	社債券（投資法人債券を含む）	10,001	— (10,000)

*金額は受け渡し代金。（経過利子分は含まれておりません。）

*単位未満は切り捨て。

*（ ）内は償還等による増減分で、上段の数字には含まれておりません。

*社債券（投資法人債券を含む）には新株予約権付社債（転換社債）は含まれておりません。

○ 利害関係人との取引状況等

(2014年 7 月12日～2015年 7 月13日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況 B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況 D	$\frac{D}{C}$
公社債	百万円 561	百万円 70	% 12.5	百万円 40	百万円 —	% —

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第 1 項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは野村證券株式会社です。

○組入資産の明細

(2015年7月13日現在)

国内公社債

(A)国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末				残存期間別組入比率		
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちB B格以下 組 入 比 率	5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
特殊債券 (除く金融債)	80,000 (80,000)	80,175 (80,175)	59.3 (59.3)	— (—)	— (—)	— (—)	59.3 (59.3)
金融債券	10,000 (10,000)	10,005 (10,005)	7.4 (7.4)	— (—)	— (—)	— (—)	7.4 (7.4)
合 計	90,000 (90,000)	90,180 (90,180)	66.7 (66.7)	— (—)	— (—)	— (—)	66.7 (66.7)

* () 内は非上場債で内書きです。

*組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

*金額の単位未満は切り捨て。

*—印は組み入れなし。

*評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

*残存期間が1年以内の公社債は原則として償却原価法により評価しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘 柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
特殊債券(除く金融債)	%	千円	千円	
日本高速道路保有・債務返済機構承継 政府保証第346回	1.4	10,000	10,016	2015/8/26
首都高速道路債券 政府保証第199回	1.4	10,000	10,016	2015/8/28
本州四国連絡橋債券 政府保証第27回	1.4	20,000	20,035	2015/8/31
公営企業債券 政府保証第854回	1.4	20,000	20,024	2015/8/18
日本政策投資銀行債券 政府保証第10回	1.4	10,000	10,015	2015/8/26
日本高速道路保有・債務返済機構債券 財投機関債第6回	1.65	10,000	10,065	2015/12/18
小 計		80,000	80,175	
金融債券				
しんきん中金債券 利付第249回	0.5	10,000	10,005	2015/8/27
小 計		10,000	10,005	
合 計		90,000	90,180	

*額面・評価額の単位未満は切り捨て。

○投資信託財産の構成

(2015年7月13日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	90,180	66.7
コール・ローン等、その他	44,958	33.3
投資信託財産総額	135,138	100.0

*金額の単位未満は切り捨て。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2015年7月13日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	135,138,782
コール・ローン等	14,264,520
公社債(評価額)	90,180,480
未収入金	30,127,600
未収利息	393,460
前払費用	172,722
(B) 負債	0
(C) 純資産総額(A－B)	135,138,782
元本	134,252,300
次期繰越損益金	886,482
(D) 受益権総口数	134,252,300口
1万口当たり基準価額(C/D)	10,066円

(注) 期首元本額206百万円、期中追加設定元本額159百万円、期中一部解約元本額231百万円、計算口数当たり純資産額10,066円。

(注) 当マザーファンドを投資対象とする投資信託の当期末元本額

- ・野村金先物投信(マネープールファンド)年2回決算型 83百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(マネープールファンド)年2回決算型 6百万円
- ・野村金先物投信(豪ドルコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村金先物投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村金先物投信(南アフリカランドコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村金先物投信(豪ドルコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村金先物投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村金先物投信(南アフリカランドコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(円コース)毎月分配型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ニュージーランドドルコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)毎月分配型 1百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)毎月分配型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(円コース)年2回決算型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(豪ドルコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ニュージーランドドルコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(ブラジルリアルコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(南アフリカランドコース)年2回決算型 0百万円
- ・野村PIMCO・米国ハイ・イールド債券投信(メキシコペソコース)年2回決算型 0百万円
- ・財形給付金ファンド 35百万円

○損益の状況 (2014年7月12日～2015年7月13日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	1,129,621
受取利息	1,129,621
(B) 有価証券売買損益	△ 996,145
売買益	63
売買損	△ 996,208
(C) 当期損益金(A+B)	133,476
(D) 前期繰越損益金	1,219,653
(E) 追加信託差損益金	1,004,315
(F) 解約差損益金	△ 1,470,962
(G) 計(C+D+E+F)	886,482
次期繰越損益金(G)	886,482

* 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

* 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

* 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

○お知らせ

①書面決議の要件緩和等に関する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2014年12月1日＞

②書面決議に反対した受益者が受託者に対して行う受益権の買取請求を不適用とする所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2014年12月1日＞

③デリバティブ取引等に係る投資制限に関する所要の約款変更を行いました。

＜変更適用日：2014年12月17日＞

＜ 「野村金先物投信(通貨選択型)」「マネープールファンド(年2回決算型)を除く)の
お申し込み時の留意点 ＞

販売会社の営業日であってもお申し込みの受付ができない日（以下「申込不可日」といいます。）があります。

お申し込みの際には、これらの申込不可日に該当する日をご確認のうえ、お申し込みいただきますよう
よろしくお願いいたします。

(2016年4月25日現在)

年 月	日
2016年4月	28
5月	2、13、16、27、30
6月	22、23
7月	1、4
8月	12、15、26、29
9月	2、5
10月	31
11月	1、10、11、22、24
12月	22、26、27

※2016年12月までに該当する「申込不可日」を現時点で認識しうる情報をもとに作成しておりますが、諸事情等により
突然変更される場合があります。

したがって、お申し込みにあたってはその点についても十分ご注意下さい。また、諸事情等による申込不可日の変更は、
販売会社に連絡いたしますので、お問い合わせ下さい。

なお、弊社ホームページ（<http://www.nomura-am.co.jp/>）にも掲載いたしております。